

大沼議員が負傷

採決時に倒され

安全保障関連法案を審議する参院平和安全法制特別委員会の17日の採決に伴う混乱で、自民の大沼瑞穂氏(山形選挙区)がほかの議

員に倒され、右手の指を打撲するけがをした。

大沼氏によると、委員長

席から見て左手後方にいた大沼氏を野党の男性議員が羽交い締めにし、横に投げ飛ばした。椅子にぶつかつた大沼氏は右手の薬指と小

指を負傷し、院内の医務室で打撲と診断された。

山形新聞の取材に対し、

大沼氏は「委員長席はパフォーマンスの場ではない。セクハラに近い行為で、精神的ショックが大きい」と話した。